

「劉白唱和集」稿

序 說

例えば、劉禹錫の

沈舟の側畔に千帆の過ぎ、

病樹の前頭に萬木は春なり。

の句について、白居易は、

眞に神妙と謂えり。在在處處、まさに靈物ありて之を護りしなるべし。

と「劉白唱和集の解」²³³⁰で記しつつ感嘆していた。この劉氏の詩句は、

「樂天の揚州にて初めて逢いし席上にて贈らるるに酬ゆ²⁶⁰⁵」の、

巴山 楚水 淒涼の地、

二十三年 棄置せられし身。

舊を懐い重ねて吟ず 聞笛の賦、

郡に到れば翻つて似たり 爛柯の人。

沈舟の側畔に千帆の過ぎ、

「劉白唱和集」稿

花 房 英 樹

病樹の前頭に萬木は春なり。

今日 君が一曲を歌うを聞き、

暫く盃酒に憑つて精神を長ぜり。

中に見え、若き日に中央より追放され、今に至るまで二十三年、地方めぐりを餘儀なくせしめられ、かつての知人も、沈舟にも似た我が身に一顧を與えることなく、榮達の途をひたすらに走り去り、病める樹にも擬せらるべき己れの周圍には、それぞれに花やぐん々が羽振りをきかしているという感慨を盛つたものであつた。この劉詩を導き出した、白居易の原唱は、「酔いて劉二十八使君に贈る²⁵²⁹」の、

我が爲に杯を引き酒を添えて飲め、

君が興に筋を把り盤を撃ちて歌わん。

詩は國手と稱せらるるも徒らずに爾のみ、

命は人頭を壓して奈何ともすべからず。

舉眼の風光 長らく寂寞たり、

滿朝の官職 獨り蹉跎たり。

亦た才名のために折かるべきを知るも、

二十三年の折かるは太だ多たり。

であるが、そこには劉氏に對する賞賛と同情がある。この白氏の友情を受けとめたのが、先の劉詩であつた。二詩の間には、たしかな友情の交流がある。このような友情が、贈答唱和の基盤をなすものであろう。

ただし、贈答唱和は、單なる社交的な樂しみに終始するものではない。白居易は、かつて「和答詩十首」の「序」で、元稹とともに、

其の意、太だ切かにして、理は太だ周し。故に理太だ周ければ則ち辭繁く、意太だ切かければ言則ち激し。然れども、足下と文を爲りて、長ずる所も此ここに在り、病とする所も亦た此ここに在り。

と述べ、自己の表現手法を反省していたが、その自己に足りぬものを劉禹錫に見出していたのである。まこと劉詩は、「白居易の文學」で言及したように、露わな表出を避け、言外に深い感慨を託する、そのような象徴的な表現手法において優れていた。それ故にこそ、この詩の原唱で、白は「詩は國手と稱せらる」とも詠じていたのである。白にとつては、劉は自己の文學表現を反省せしめ、さらに新たな方向を指示するよすがとも觀ぜられていた。「劉蘇州に與える書²⁹²⁵」が、

得儔の句、警策の篇、多く彼此の唱和の中に之を得たり。

と記していたのも、この爲であつた。劉に眞向いになつて、白の文學は新たな生面に達し得たのである。劉白の唱和は、白の文學の内面にまで作用していたのであつた。このことは、劉禹錫の場合においても、濃淡の差こそあれ、相い似ていた。贈答唱和のことは、單なる形式的な言語遊戯ではなかつた。

したがつて、贈答唱和のことは、一つの文學的立場を共有するところに、展開の條件がひそんでいた。中唐において、それ以前には類の少い唱和集が、著しく目立つて次々と成立するのは、文學的傾向や主張が明確に自覺され、そこに文學的集團とでも言わるべきものが發生したからである。唱和の文學は、聯句のそれとともに、文學的集團の所産である。白居易と唱和の關係に入つて、文學的集團を形成したと考えられる人の數は少くない。すでに白居易が記しているように、劉禹錫のほかにも、元白唱和集における元稹があつた。また、その元稹とともに三州唱和集を成した崔玄亮もあつた。しかし、崔玄亮の場合でも、今に傳えられる作品は極めて稀少であり、

白樂天に和す

という、白居易の

晦叔に贈り夢得を憶う²⁹⁰⁹

の和篇が一首のみ、全唐詩に見出されるにすぎない。白氏文集において、崔玄亮よりも多く、贈答唱和の關係をもつたと認められる張籍の場合も、全唐詩によつて、それぞれの作品を對應せしめれば、

1 病中寄白學士

酬張太祝晚秋臥病見寄⁰⁴¹⁸

2 寄白學士

酬張籍因以代書⁰⁷¹⁶

3 謝裴司空寄馬

和張十八祕書謝裴相公寄馬¹²¹¹

4 喜張十八博士除水部員外郎¹²⁷⁵

張籍

白居易

張籍

白居易

張籍

白居易

白居易

	新除水曹郎答白舍人見賀	張籍
5	江樓晚眺景物鮮奇吟翫成篇寄水部張員外 ²⁵⁷⁸	白居易
	答白杭州郡樓登望畫見寄	張籍
6	張十八員外以新詩二十五首見寄郡樓月下吟翫通夕因題卷後封寄微之 ²³¹⁷	白居易
	酬杭州白使君兼寄浙東元大夫	張籍
7	杏園花下贈劉郎中 ²⁵⁷⁹	白居易
	同白侍郎杏園贈劉郎中	張籍
8	曲江獨行招張十八 ³⁶⁷⁸	白居易
	酬白二十二舍人早春曲江見招	張籍
1	木蓮花三首 ¹¹¹⁷	白居易
	和白使君木蘭花	徐凝
2	春風 ²⁶⁰⁸	白居易
	和嘲春風	徐凝
3	秋遊 ²⁷⁴⁵	白居易
	和秋遊洛陽	徐凝
4	期宿客不至 ²⁷⁷²	白居易
	和侍郎邀宿不至	徐凝
5	夜題玉泉寺 ²⁷⁷⁷	白居易
	和夜題玉泉寺	徐凝
6	王子晉廟 ²⁸²⁷	白居易

「劉白唱和集」稿

和川守侍郎嶽山題仙廟

徐凝

等を得るのみである。したがって、楊巨源・牛僧孺・姚合などにおいては、その交渉の程度は、人間関係の面ではつかみ得ても、文學の面では殆んど知り得るところはない。張籍や徐凝をも含めて、唱和集を結集するまで深くはなかつた爲であろう。劉禹錫とともに、唱和集を結集し、かなり文學關係を追究し得るのは、元稹である。しかし、元氏長慶集にも多くの歌詩に闕如があり、原形から距離をもつている。したがって、元白唱和集も、舊形に復原することは、まことに困難である。劉白唱和集こそ、原形に近く復原し得る唯一のものであろう。

ここに劉白唱和集を復原し、唱和の文學的意義を考察するよすがにしようとするのである。唱和のことは後世、嚴羽などによつて強く批難されているが、それは形式に重點を置く「次韻」に傾くのであり、その「次韻」をあまり重視しない、この劉白唱和集は、唱和という文學を考察するのに、十分な資質を備えているからでもある。もともと唱和の詩は、すでに「白氏文集の批判的研究」で言及したように、「和」の立場から見れば、いずれにしても、一つの事態から惹起された、原初的な感動にもとづくものではなく、事態から離れて、作品そのものから誘發された詩情を起點とするものであり、その故に、より多く表現に密着し、發想や措辭などへの關心が優先する。しかも、常に直接的な對人意識の下に制作されるから、表現への顧慮が強く、技術への配慮が深くなる傾向をもつ。それだけに、中國における詩歌一般の特質を色濃く反映する。まことに中國の歌詩は、知的な、そして技術的な要素を含む。その故に、唱和の詩は、その文學の本質に連り、しかも、一般の歌詩においては、

ともすれば見逃され易い面を、ことさらに露呈することも多い。中國の歌詩、ひいては文學の特質を究明する上において、聯句とともに、一つの重要な分野であつた。もともと、諸家の詩文集から、贈答唱和の歌詩を削り去れば、後に残る歌詩の量は、極めて少くなるであろうと考えられるほど、贈答唱和の歌詩は、中國の歌詩そのものと深く結びつくものであつた。そのような贈答唱和の文學としての、典型的なものとして、唱和集をとりあげ、しかも、成立當時における舊に近い一として、劉白唱和集の復原を意圖したのである。

ただし、白氏文集にも會昌以後の作品に闕逸があり、さらに劉夢得文集にも、宋人の手による再構成の諸本が與えられているのみであり、完全な復原は困難である。ただ、劉夢得文集の「外集」の諸卷は、劉白唱和集や、令狐楚との彭陽唱和集、さらには裴度との汝洛集などから、劉詩のみを選出して結集したと認められる形迹がある。劉白唱和集に據るのは、卷一・二・四と察せられる。この數卷を中心として、白氏文集中の關係作品を對應せしめれば、容易に唱和集の復原もされよう。もととの五卷は、

- 卷一・二一 太和二年～太和三年 劉・集賢殿學士 白・祕書監刑部侍郎
 卷三 太和五年～太和六年 劉・蘇州刺史 白・河南尹（吳洛寄和卷）
 卷四 太和八年～開成元年 劉・汝州・同州刺史 白・太子少傅分司（汝洛卷）
 開成元年～會昌二年 劉・太子賓客分司、祕書監分司、白・太子少傅分司

の内容をもつものであつたが、今はその卷別をなすことも十分にはできず、またさほどの意味ももち得ないから、ここでは、一應、「白氏文集の批判的研究」の記述に照應せしめるため、編集を白氏文集に即して形

成する。したがつて、先に定めた作品番號の序列に沿つて白詩を列し、それと對應する劉詩を擧げる。劉詩に附した作品番號は、「劉禹錫研究一」における「作品資料表」に定めたところに従う。ここで改めて、劉夢得文集の秩序によつて、劉詩を配すれば次のようになる。

劉詩	白詩
0333 東都	3138 都 太和6～開成3
0334 東都	3139 都 太和6～開成3
0335 東都	3140 都 太和6～開成3
0336 東都	3141 都 太和6～開成3
0337 東都	3142 都 太和6～開成3
0338 東都	3143 都 太和6～開成3
0339 東都	3144 都 太和6～開成3
0340 東都	3145 都 太和6～開成3
0341 東都	3419 都 開成4
0342 東都	3448 都 開成5
0343 東都	3146 都 太和6～開成4
0344 東都	3147 都 太和6～開成4
0345 東都	3148 都 太和6～開成4
0346 東都	3149 都 太和6～開成4
0347 東都	3150 都 太和6～開成4
0348 東都	3151 都 太和6～開成4
0349 東都	3152 都 太和6～開成4
0350 東都	3153 都 太和6～開成4
0598 夔州	3154 都 太和6～開成4
0600 和州	1364 杭 長慶3
0601 和州	2414 途 寶曆1
	2447 蘇 寶曆2
	2467 蘇 寶曆2

0602	和州	2419	蘇	寶曆 1					
0604	蘇州	2221	蘇	寶曆 2					
0605	揚州	2522	揚	寶曆 2					
0606	揚州	2508	揚	寶曆 2					
0609	蘇州	2504	蘇	寶曆 2					
0610	楚州	2225	楚	寶曆 2					
0611	東都	2554	都	太和 2					
0613	東都	2558	都	太和 2					
0614	東都	2559	都	太和 2					
0617	東都	2569	都	太和 2					
0619	京師	2582	京	太和 2					
0622	京師	2586	京	太和 2					
0623	京師	2626	京	太和 2					
0624	京師	2624	京	太和 2					
0626	京師	2621	京	太和 2					
0627	京師	2631	京	太和 2					
0628	京師	2628	京	太和 2					
0629	京師	2640	京	太和 2					
0630	京師	2641	京	太和 2					
0631	京師	2579	京	太和 2					
0632	京師	2627	京	太和 2					
0633	京師	2647	京	太和 3					
0634	京師	2646	京	太和 2					
0635	京師	2650	京	太和 3					
0636	京師	2597	都	太和 3 ~ 5					
0639	京師	3723	京	太和 3					
0640	京師	2716	京	太和 3					
0641	京師	2648	京	太和 3					
0642	京師	2672	京	太和 3					
0643	京師	2673	京	太和 3					
0644					0644	京師	2674	京	太和 3
					0645	京師	2675	京	太和 3
					0646	京師	2676	京	太和 3
					0647	京師	2677	京	太和 3
					0648	京師	2678	京	太和 3
					0649	京師	2679	京	太和 3
					0650	京師	2680	京	太和 3
					0651	京師	2681	京	太和 3
					0652	京師	2682	京	太和 3
					0653	京師	2683	京	太和 3
					0654	京師	2684	京	太和 3
					0655	京師	2685	京	太和 3
					0656	京師	2686	京	太和 3
					0657	京師	2687	京	太和 3
					0658	京師	2688	京	太和 3
					0659	京師	2689	京	太和 3
					0660	京師	2690	京	太和 3
					0661	京師	2691	京	太和 3
					0663	京師	2811	都	太和 3
					0664	京師	2722	途	太和 3
					0665	京師	2738	都	太和 3
					0667	京師	2816	都	太和 3
					0668	京師	2281	都	太和 3
					0670	京師	2880	都	太和 5
							2881	都	太和 5
					0671	京師	2882	都	太和 5
					0672	東都	2879	都	太和 5
					0673	東都	2787	都	太和 5
					0675	東都	2788	都	太和 5
					0676	東都	2789	都	太和 5

人文學

0677	東都	2242	都	太和 5	0779	東都	3290	都	開成 1
0683	蘇州	2246	都	太和 6	0780	東都	3288	都	開成 1
0684	蘇州	2685	都	太和 6	0781	東都	3295	都	開成 1
0685	蘇州	2703	都	太和 6	0782	東都	3294	都	開成 1
0686	蘇州	2907	都	太和 6	0783	東都	3299	都	開成 2
0687	蘇州	2689	都	太和 6	0784	東都	3299	都	開成 1
0688	蘇州	2705	都	太和 6	0787	東都	3001	都	開成 2
0689	蘇州	2707	都	太和 6	0788	東都	3312	都	開成 2
0691	蘇州	2909	都	太和 6	0789	東都	3313	都	開成 2
0693	蘇州	3061	都	太和 7	0791	東都	3342	都	開成 3
0694	蘇州	3074	都	太和 7	0795	東都	3519	都	開成 3
0695	蘇州	2965	都	太和 7	0796	東都	3520	都	開成 3
0696	蘇州	3098	都	太和 7	0797	東都	3352	都	開成 3
0697	蘇州	3094	都	太和 7	0799	東都	3357	都	開成 3
0698	蘇州	3099	都	太和 7	0801	東都	3364	都	開成 3
0699	蘇州	3097	都	太和 7	0803	東都	3377	都	開成 3
0700	蘇州	3106	都	太和 7	0804	東都	3389	都	開成 3
0701	蘇州	3100	都	太和 7	0807	東都	3366	都	開成 3
0702	蘇州	3078	都	太和 7			3367	都	開成 3
		3079	都	太和 7			3368	都	開成 3
0711		2348	杭	長慶 4	0808	東都	3509	都	開成 2
0764	東都	3341	都	開成 2	0809	東都	3372	都	開成 3
0766	同州	3239	都	開成 1	0810	東都	3046	都	開成 2
0767	汝州	3700	都	太和 8	0812	東都	3049	都	開成 2
0769	汝州	3213	都	太和 9	0813	東都	3338	都	開成 2
0770	蘇州	3223	都	太和 7	0814	東都	3327	都	開成 2
0774	東都	3241	都	太和 9	0815	東都	3233	都	開成 2
0776	東都	3282	都	開成 1	0817	東都	3347	都	開成 3
0777	東都	3287	都	開成 1	0818	東都	3346	都	開成 3
0778	東都	3283	都	開成 1	0821	東都	3335	都	開成 2

0822	東都	3518	都	開成3
0898	東都	3343	都	開成3
0906	東都	3362	都	開成3
1050	東都	3402	都	開成4
1051	東都	3425	都	開成4
1052	東都	3450	都	開成5
1053	東都	3438	都	開成5

劉詩の制作年次は、詩や文集からではさだかにならぬ場合が多いが、白詩の制作年次は、ほぼ推定し得るから、これによつてその大體は察し得る。ことに元稹と白居易との間にしばしば行われた「追和」のことは少く、それぞれに當時の制作にかかるものが多いと認められるからである。劉夢得文集における、諸作の制作年次を考える上においての目じるしとして、ここに白詩の制作年次をも加えたのである。

本文

杭州春望 (1364)

白居易

望海樓明照曙霞。護江隄白蹋晴沙。濤聲夜入伍員廟。柳色春藏蘇小家。紅袖織綾誇柿蒂。青旗沽酒趁梨花。誰開湖寺西南路。草綠裙腰一道斜。

白舍人自杭州寄新詩有柳色春藏蘇小家之句因而戲酬兼寄浙東元相公 (598)

劉禹錫

錢塘山水有奇聲。暫謫仙官守百城。女妓還聞名小小。使君誰許喚卿卿。鼇驚震海風雷起。蜃鬪嘘天樓閣成。莫道騷人在三楚。文星今向斗牛明。

白太守行 (604)

劉禹錫

聞有白太守。地官歸舊溪。蘇州十萬戶。盡作嬰兒啼。太守駐行舟。閨門草萋萋。揮袂

謝啼者。依然兩眉低。朱戶非不崇。我心如重狝。華池非不清。意在寥廓栖。夸者竊所怪。賢者默思齊。我爲太守行。題在隱起珪。

答白太守行 (2221)

白居易

吏滿六百石。昔賢輒去之。秩登二千石。今我方罷歸。我秩訝已多。我歸慚已遲。猶勝塵土下。終老無休期。臥乞百日告。起吟五篇詩。朝與府吏別。暮與州民辭。去年到郡時。麥穗黃離離。今年去郡日。稻花白霏霏。爲郡已周歲。半歲罹旱飢。襦袴無一片。甘棠無一枝。何乃老與幼。泣別盡霑衣。下慚蘇民淚。上愧劉君辭。

歲杪將發楚州呈樂天 (610)

劉禹錫

楚澤雪初霽。楚城春欲歸。清淮變寒色。遠樹含清暉。原野已多思。風霜潛滅威。與君同旅鴈。北向刷毛衣。

除日答夢得同發楚州 (2225)

白居易

共作千里伴。俱爲一郡迴。歲陰中路盡。鄉思先春來。山雪晚猶在。淮冰晴欲開。歸歎吟可作。休戀主人杯。

耳順吟寄敦詩夢得 (2229)

白居易

三十四五慾牽。七十八百病纏。五六十却不惡。恬淡清淨心安然。已過愛貪聲利後。猶在病羸昏耄前。未無筋力尋山水。尙有心情聽管絃。閑開新酒嘗數盞。醉憶舊詩吟一篇。敦詩夢得且相勸。不用嫌他耳順年。

和樂天耳順吟兼寄敦詩 (677)

劉禹錫

吟君新什慰蹉跎。屈指同登耳順科。鄧禹功成三紀事。孔融書就八年多。已經將相誰能爾。拋却丞郎爭奈何。獨恨長州數千里。且隨魚鳥泛煙波。

憶舊遊寄劉蘇州 (2246)

白居易

憶舊遊。舊遊安在哉。舊遊之人半白首。舊遊之地多蒼苔。江南舊遊凡幾處。就中最憶吳江隈。長洲苑綠柳萬樹。齊雲樓春酒一盃。闔門曉殿旗鼓出。臯橋夕閣船舫迴。脩蛾慢臉燈下醉。急管繁絃頭上催。六七年。前狂爛熳。三千里。外思徘徊。李娟張態成春夢。周五殷三歸夜臺。虎丘月色為誰好。娃宮花枝應自開。賴得劉郎解吟詠。江山氣色合歸來。

樂天寄憶舊送因作報白君以荅 (683)

劉禹錫

報白君。別來已度江南春。江南春色何處好。鷺子雙飛故官道。春城三百七十橋。夾岸朱樓隔柳條。丫頭小兒鬢畫漿。長袂女郎簪翠翹。郡齋北軒卷羅幕。碧池透迤遶華閣。池邊綠竹桃李花。花下舞筵鋪彩霞。吳娃足情言語黠。越客有酒巾冠斜。坐中皆言白太守。不負風光向杯酒。酒酣鬢髮飛逸韻。至今傳在人口。報白君。相思空望嵩丘雲。其奈錢塘蘇小。憶君淚點石榴裙。白君有妓近自洛歸錢塘

月夜憶樂天兼寄微之 (668)

劉禹錫

今宵帝城月。一望雪相似。遙想洛陽城。清光正如此。知君當此夕。亦望鏡湖水。展轉相憶心。月明千萬里。

酬集賢劉郎中對月見寄兼懷元浙東 (2281)

白居易

月在洛陽天。天高淨如水。下有白頭人。擘衣中夜起。思遠鏡亭上。光深書殿裏。眇然三處心。相去各千里。

柘枝妓 (2348)

白居易

平鋪一合錦筵開。連擊三聲畫鼓催。紅蠟燭移桃葉起。紫羅衫動柘枝來。帶垂鈿胯花腰重。帽轉金鈴雪面迴。看即曲終留不住。雲飄雨送向陽臺。

和樂天柘枝 (711)

劉禹錫

柘枝本出楚王家。玉面添驕舞態奢。雲鬢改梳翔鳳髻。新衫別織鬪雞紗。鼓催殘拍腰身軟。汗透羅衣雨點花。華筵曲罷辭歸去。便隨王母上煙霞。

答劉和州 (2414)

白居易

換印雖頻命未通。歷陽湖上又秋風。不教才展休明代。為罰詩爭造化功。我亦思歸田舍下。君應厭臥郡齋中。好相收拾為閑伴。年齒官班約略同。

白舍人見酬拙詩因以寄謝 (600)

劉禹錫

雖陪三品散班中。資歷從來事不同。名姓也曾鐫石柱。詩篇未得上屏風。甘陵舊黨凋零盡。魏闕新知禮數崇。煙水五湖如有伴。猶應堪作釣魚翁。

自詠 (2419)

白居易

形容瘦薄詩情苦。豈是人間有相人。只合一生眠白屋。何因三度擁朱輪。金章未佩雖非貴。銀榼常攜亦不貧。唯是無兒頭早白。被天磨折恰平均。

蘇州白舍人寄新詩有歎早白無兒之句因以贈之 (602)

劉禹錫

莫嗟華髮與無兒。却是人間久遠期。雪裏高山頭白早。海中仙果子生遲。于公必有高門慶。謝守何煩曉鏡悲。幸免如新分非淺。祝君長詠夢熊詩。高山本高子門使之高。二義殊古之詩。流曉此。

酬劉和州戲贈 (2417)

白居易

錢塘山水接蘇臺。兩地寒帷愧不才。政事素無爭學得。風情舊有且將來。雙蛾解珮啼相送。五馬鳴珂笑却迴。不似劉郎無景行。長拋春恨在天台。

白舍人曹長寄詩有遊宴之盛因以戲酬 (601)

劉禹錫

蘇州刺史例能詩。西掖今來替左司。二八城門開道路。五千兵馬引旌旗。水通山寺

笙歌去。騎過虹橋。劍戟隨。若共吳王鬪百草。不如應是缺西施。

重答劉和州 (2467)

白居易

分無佳麗敵西施。敢有文章替左司。隨分笙歌聊自樂。等閑篇詠被人知。花邊妓引尋香徑。月下僧留宿劍池。可惜當時好風景。吳王應不解吟詩。

鸚鵡 (2504)

白居易

隴西鸚鵡到江東。養得經年鬚漸紅。常恐思歸先翦翅。每因餒食暫開籠。人憐巧語情雖重。鳥憶高飛意不同。應似朱門歌舞妓。深藏牢閉後房中。

和樂天鸚鵡 (609)

劉禹錫

養來鸚鵡鬚初紅。宜在朱樓繡戶中。頻學喚人緣性慧。偏能識主爲情通。斂毛睡足難銷日。彈翅愁時願見風。誰遣聰明好顏色。事須安置入深籠。

與夢得同登棲靈塔 (2508)

白居易

半月悠悠在廣陵。何樓何塔不同登。共憐筋力猶堪在。上到棲靈第九層。

同樂天登棲靈寺塔 (606)

劉禹錫

步步相攜不覺難。九層雲外倚欄干。忽然語笑半天上。無限遊人與眼看。

醉贈劉二十八使君 (2522)

白居易

爲我引杯添酒飲。與君把筯擊盤歌。詩稱國手徒爲爾。命壓人頭不奈何。舉眼風光長寂寞。滿朝官職獨蹉跎。亦知合被才名折。二十三年折太多。

酬樂天揚州初逢席上見贈 (605)

劉禹錫

巴山楚水淒涼地。二十三年棄置身。懷舊空吟聞笛賦。到郡翻似爛柯人。沈舟側畔千帆過。病樹前頭萬木春。今日聽君歌一曲。暫憑盃酒長精神。

早春同劉郎中寄宣武令狐相公 (2554)

白居易

梁園不到一年強。遙想清吟對綠觴。更有何人能飲酌。新添幾卷好篇章。馬頭拂柳時迴轡。豹尾穿花暫亞槍。誰引相公開口笑。不逢白監與劉郎。

洛中逢白監同話遊梁之樂因寄宣武令狐相公 (611)

劉禹錫

曾經謝病各遊梁。今日相逢憶孝王。少有一身兼將相。更能四面占文章。開顏坐內催飛盞。回首庭中看舞槍。借問風前兼月下。不知何客對胡牀。

鶴歎二首并序 (613·614)

劉禹錫

友人白樂天。去年罷吳郡。挈雙鶴歸以歸。余相遇于楊子津。問翫終日。翔舞調態。一符相書信。華亭之尤物也。今年春。樂天爲秘書監。不以鶴隨。置之洛陽第一旦。予入門。問訊其家人。鶴軒然來。說如記相識。徘徊俛仰。似含情顧慕。填膺而不能言者。因以作鶴歎。以贈樂天。

寂寞一雙鶴。主人在西京。故巢吳苑樹。深院洛陽城。徐引竹間步。遠含雲外情。誰憐好風月。隣舍夜吹笙。東隣卽王家

丹頂宜承日。霜翎不染泥。愛池能久立。看月未成棲。一院春草長。三山歸路迷。主人朝謁早。貪養汝南雞。

有雙鶴留在洛中。忽見劉郎中。依然鳴顧。劉因爲鶴歎二篇。寄予予以

二絕句答之 (2558·2548)

白居易

辭鄉遠隔華亭水。逐我來棲嶺嶺雲。慚愧稻梁長不飽。未曾迴眼向雞羣。荒草院中池水畔。銜恩不去又經春。見君驚喜雙迴顧。應爲吟聲似主人。

臨都驛答夢得六言一首 (2569·2570)

白居易

揚子津頭月下臨都驛裏燈前。昨日老於前日。去年春似今年。
謝守歸爲祕監。馮公老作郎官。前事不須問著。新詩且更吟看。

荅樂天臨都驛見贈六言 (617·618)

劉禹錫

北固山邊波浪。東都城裏風塵。世事不同心事。新人何似故人。

再贈樂天

一政政官軋軋。一年年老駸駸。身外名何足算。別來詩且同吟。

○

杏園花下贈劉郎中 (2579)

白居易

怪君把酒偏惆悵。曾是貞元花下人。自別花來多少事。東風二十四回春。

杏園花下酬樂天見贈 (631)

劉禹錫

二十餘年作逐臣。歸來還見曲江春。遊人莫笑白頭醉。老醉花間有幾人。

○

和裴相公水傍絕句 (2582)

白居易

行尋春水坐看山。早出中書晚未還。爲報野僧巖客道。偷閑氣味勝長閑。

和裴相公傍水閑行 (619)

劉禹錫

爲愛逍遙第一篇。時時閑步賞風煙。看花臨水心無事。功業成來二十年。

○

答裴相公乞鶴 (2586)

白居易

鶯露聲音好。冲天相貌殊。終宜向遼廓。不稱在泥塗。白首勞爲伴。朱門幸見呼。不知

疎野性。解愛鳳池無。

和裴相公寄白侍郎求雙鶴 (622)

劉禹錫

皎皎華亭鶴。來隨太守舡。白君罷吳郡太
守携鶴鶴來青雲意長在。滄海別經年。留滯清洛苑。徘徊

迴明月天。何如鳳池上。雙舞入祥煙。

春詞 (2597)

白居易

低花樹映小粧樓。春入眉心兩點愁。斜倚欄杆問鸚鵡。思量何事不迴頭。

和樂天春詞 (636)

劉禹錫

新粧宜面下朱樓。深鎖春光一院愁。行到中庭數花朵。蜻蜓飛上玉搔頭。

○

早寒 (2621)

白居易

黃葉聚牆角。青苔圍柱根。被經霜後薄。鏡遇雨來昏。半卷寒簷幕。斜開煖閣門。迎冬

兼送老。祇仰酒盈樽。

和樂天早寒 (636)

劉禹錫

雨引苔侵壁。風驅葉擁階。久留門客話。宿請老僧齋。酒甕新陳接。書籤次第排。翛然

自有處。搖落不傷懷。

○

終南秋雪 (624)

劉禹錫

南嶺見秋雪。千門生早寒。閒時駐馬望。高處卷簾看。霧散瓊枝出。日斜鈿粉殘。偏宜

曲江上。倒影入清瀾。

和劉郎中望終南山秋雪 (2624)

白居易

遍覽古今集。都無秋雪詩。陽春先唱後。陰嶺未消時。草訝霜凝重。松疑鶴散遲。清光

莫獨占。亦對白雲司。

○

送鶴與裴相臨別贈詩 (2626)

白居易

司空愛爾爾須知。不信聽吟送鶴詩。羽翮勢高寧惜別。稻粱恩厚莫愁飢。夜棲少共

雞爭樹。曉浴先饒鳳占池。穩上青雲勿迴顧。的應勝在白家時。

和樂天送鶴上裴相公別鶴之作 (623)

劉禹錫

昨日看成送鶴詩。高籠提出白雲辭。朱門乍入應迷路。玉樹容棲莫揀枝。雙舞庭中花落處。數聲池上月明時。三山碧海不歸去。且嚮人間呈羽儀。

○

和令狐相公初歸京國賦詩言懷 (624)

劉禹錫

凌雲羽翮挾天才。楊歷中樞與外臺。相印昔辭東閣去。將星還拱北辰來。殿庭捧日飄纓入。閣道看山曳履迴。口不言功心自適。吟詩釀酒待花開。

令狐相公拜尚書後有喜從鎮歸朝之作劉郎中先和因以繼之

(2627)

白居易

車騎從新梁苑迴。履聲珮響入中臺。鳳池望在終重去。龍節功成且納來。金勒最宜乘雪出。玉觴何必待花開。尚書首唱郎中和。不計官資祇計才。

○

送河南尹馮學士赴任 (2628)

白居易

石渠金谷中間路。軒騎翩翩十日程。清洛飲冰添苦節。碧嵩看雪助高情。謾誇河北操旄鉞。莫羨江西擁旆旌。何以府寮京令外。別教三十六峯迎。

同樂天送河南馮尹學士 (628)

劉禹錫

可憐玉馬風流地。暫輟金貂侍從才。閣上掩書劉向去。門前修刺孔融來。崑陵路靜寒無雨。洛水橋長畫起雷。共羨府中棠棣好。先於城外百花開。

○

鏡換盃 (2631)

白居易

欲將珠匣青銅鏡。換取金樽白玉卮。鏡裏老來無避處。樽前愁至有消時。茶能散悶爲功淺。萱縱忘憂得力遲。不似杜康神用速。纔分一盞便開眉。

和樂天以鏡換酒 (627)

劉禹錫

把取菱花百鍊鏡。換他竹葉十旬杯。顰眉厭老終難去。蘸甲湏歡便到來。妍醜太分

迷忌諱。松喬俱傲絕。嫌猜校量功力相千萬。好去從空白玉臺。

○

聞新蟬贈劉二十八 (2639)

白居易

蟬發一聲時。槐花帶雨枝。祇應催我老。兼遣報君知。白髮生頭速。青雲入手遲。無過一盃酒。相勸數開眉。

答白刑部聞新蟬 (621)

劉禹錫

蟬聲未發前。已自感流年。一入淒涼耳。如聞斷續絃。晴清依露葉。晚急思霞天。何事秋鄉詠。逢時亦悄然。

○

贈王山人 (2640)

白居易

玉芝觀裏王居士。服氣殫霞善養身。夜後不聞龜喘息。秋來唯長鶴精神。容顏盡怪長如故。名姓多疑不是真。貴重榮華輕壽命。知君悶見世間人。

同白二十二贈王山人 (629)

劉禹錫

愛名之世忘名客。多事之時無事身。古老相傳見來久。歲年雖變貌長新。飛章上達三清路。受籙平交五嶽神。笑聽鑿鑿朝暮鼓。只能催得市朝人。

○

題集賢閣 (630)

劉禹錫

鳳池西畔圖書府。玉樹玲瓏景氣間。長聽餘風送天樂。時登高閣望人寰。青山雲繞欄干外。紫殿香來步武間。會是先賢翔集地。每看壁記一慙顏。

和劉郎中學士題集賢閣 (2641)

白居易

朱閣青山高庫齊。與君才子作詩題。傍聞大內笙歌近。下視諸司屋舍低。萬卷圖書天祿上。一條風景月華西。欲知丞相優賢意。百步新廊不踏泥。

○ 酬令狐相公春日尋花見寄六韻 (2646)

白居易

病臥帝王州。花時不得遊。老應隨日至。春肯為人留。粉壞杏將謝。火繁桃尚稠。白飄僧院地。紅落酒家樓。空裏雪相似。晚來風不休。吟君悵望句。如到曲江頭。

○ 和令狐相公春日尋花有懷白侍郎閣老 (634)

劉禹錫

芳菲滿雍州。鸞鳳許同遊。花逕須深入。時光不少留。色鮮由樹嫩。枝亞爲房稠。靜對仍持酒。高看特上樓。晴宜連夜賞。雨便一年休。共憶秋官處。餘霞曲水頭。

○

曲江春望 (633)

劉禹錫

鳳城煙雨歇。萬象含佳氣。酒後人倒狂。花時天似醉。三春車馬客。一代繁華地。何事獨傷懷。少年曾得意。

○ 和劉郎中曲江春望見示 (2647)

白居易

芳景多遊客。衰翁獨在家。肺傷妨飲酒。眼痛忌看花。寺路隨江曲。宮牆夾樹斜。羨君猶壯健。不枉度年華。

○

送東都留守令狐尚書赴任 (2648)

白居易

翠華黃屋未東巡。碧洛青嵩付大臣。地稱高情多水竹。山宜閑望少風塵。龍門卽擬爲遊客。金谷先憑作主人。歌酒家家花處處。莫空管領上陽春。

○ 同樂天送令狐相公赴東都留守自戶部尚書拜 (641)

劉禹錫

尚書劍履出明光。居守旌旗起洛陽。世上功名兼將相。人間聲價是文章。衙門曉關分天仗。賓幕初開辟省郎。從發坡頭向東望。春風處處有甘棠。自華陝至河南皆故林也

○

南園試小樂 (2650)

白居易

小園斑駁花初發。新樂鏗鏘教欲成。紅萼紫房皆手植。蒼頭碧玉盡家生。高調管色吹銀字。慢拽歌詞唱渭城。不飲一盃聽一曲。將何安慰老心情。

○ 和樂天南園試小樂 (2651)

劉禹錫

閒步南園煙雨晴。遙聞絲竹出牆聲。欲拋丹筆三川去。先教清商一部成。花木手栽偏有興。歌詞自作別生情。多才遇景皆能詠。當日人傳滿鳳城。

○

和春深二十首 (2652-2672)

白居易

何處春深好。春深富貴家。馬爲中路鳥。妓作後庭花。羅綺驅論隊。金銀用斷車。眼前何所苦。唯苦日西斜。

何處春深好。春深貧賤家。荒涼三逕草。冷落四鄰花。奴困歸傭力。妻愁出貨車。途窮平路險。舉足劇褻斜。

何處春深好。春深執政家。鳳池添硯水。雞樹落衣花。詔借當衢宅。恩容上殿車。延英開對久。門與日西斜。

何處春深好。春深方鎮家。通犀排帶胯。瑞鶴勘袍花。飛絮衝毬馬。垂楊拂妓車。戎裝拜春殿。左握寶刀斜。

何處春深好。春深刺史家。陰繁棠布葉。岐秀麥分花。五匹鳴珂馬。雙輪畫戟車。和風引行樂。燁燁隼旆斜。

何處春深好。春深學士家。鳳書裁五色。馬鬣剪三花。蠟炬開明火。銀臺賜物車。相逢不敢揖。彼此帽低斜。

何處春深好。春深女學家。慣看溫室樹。飽識浴堂花。御印提隨仗。香牋把下車。宋家宮樣髻。一片綠雲斜。

何處春深好。春深御史家。絮繁驄馬尾。蝶繞繡衣花。破柱行持斧。埋輪立駐車。入班遙認得。魚貫一行斜。

何處春深好。春深遷客家。一杯寒食酒。萬里故園花。炎瘴蒸如火。光陰走似車。爲憂
鵬鳥至。祇恐日光斜。

何處春深好。春深經業家。唯求太常第。不管曲江花。折桂名慙郗。收螢志慕車。官場
泥鋪處。最怕寸陰斜。

何處春深好。春深隱士家。野衣裁薛葉。山飯曬松花。蘭索緝幽珮。蒲輪駐軟車。林間
箕踞坐。白眼向人斜。

何處春深好。春深漁夫家。松灣隨棹月。桃浦落船花。投餌移輕楫。牽綸轉小車。蕭蕭
蘆葉裏。風起釣絲斜。

何處春深好。春深潮戶家。濤翻三月雪。浪噴四時花。曳練馳千馬。驚雷走萬車。餘波
落何處。江轉富陽斜。

何處春深好。春深痛飲家。十分盃裏物。五色眼前花。鋪歌眠糟甕。流涎見麴車。中山
一沉醉。千度日西斜。

何處春深好。春深上巳家。蘭亭席上酒。曲洛岸邊花。弄水遊童棹。湔裾小婦車。齊櫓
爭渡處。一匹錦標斜。

何處春深好。春深寒食家。玲瓏鏤雞子。宛轉綵毬花。碧草追遊騎。紅塵拜掃車。鞦韆
細腰女。搖曳逐風斜。

何處春深好。春深博奕家。一先爭破眼。六聚鬪成花。鼓應投壺馬。兵衝象戲車。彈碁
局上事。最妙是長斜。

何處春深好。春深嫁女家。紫排襦上雉。黃帖鬢邊花。轉燭初移障。鳴環欲上車。青衣
傳氍毹。錦繡一條斜。

何處春深好。春深娶婦家。兩行籠裏燭。一對扇間花。賓拜登華席。親迎障轎車。催粧
詩未了。星斗漸傾斜。

何處春深好。春深妓女家。眉欺楊柳葉。裙妬石榴花。蘭麝熏行被。金銅釘坐車。揚州

蘇小小。人道最天斜。

同樂天和微之深春好二十首同用家花
車斜四韻 (629-661) 劉禹錫

何處深春好。春深萬乘家。宮門皆映柳。輦路盡穿花。池色連天漢。城形象帝車。旌旗
暖風裏。獵獵向西斜。

何處深春好。春深阿母家。瑤池長不夜。珠樹正開花。橋峻通星渚。樓喧近日車。層城
十二闕。相對玉梯斜。

何處深春好。春深執政家。恩光貪捧日。貴重不看花。玉饌堂交印。沙堤柱礙車。多門
一已閉。直道更無斜。

何處深春好。春深大鎮家。前旌光照日。後騎蹙成花。節院收衙隊。毬場簇看車。廣筵
歌舞散。書號夕陽斜。

何處深春好。春深貴戚家。嚙嘶無價馬。庭發有名花。欲進宮人食。先薰命婦車。晚歸
長帶酒。冠蓋任傾斜。

何處深春好。春深恩澤家。爐添龍腦炷。綬結虎頭花。賓客珠成履。嬰孩錦縛車。畫堂
簾幕外。來去燕飛斜。

何處深春好。春深京兆家。人眉斯柳葉。馬色醉桃花。盜息無鳴鼓。朝迴自走車。能令
帝城外。不敢逕由斜。

何處深春好。春深刺史家。夜闌猶命樂。雨甚亦尋花。傲客多憑酒。新姬若上車。公門
吏散後。風擺戟衣斜。

何處深春好。春深羽客家。芝田繞舍色。杏樹滿山花。雲是淮王宅。風爲列子車。古壇
操簡處。一選入林斜。

何處深春好。春深小隱家。萋庭留野菜。撼樹去狂花。醉酒一千日。貯書三十車。短衾
從露體。不敢有餘斜。

何處深春好。春深富室家。唯多貯金帛。不擬負鶯花。國樂呼聯轡。行厨載漏車。歸來

看理曲燈下寶錢斜

何處深春好。春深豪士家。多沾味濃酒。貴買色深花。已臂鷹隨馬。連催妓上車。城南踏青處。村落逐原斜。

何處深春好。春深貴冑家。迎呼偏熟客。揀選最多花。飲饌開華幄。笙歌出鈿車。與酣罇易罄。連瀉酒餅斜。

何處深春好。春深唱第家。名傳一紙勝。興管九衢花。薦聽諸侯樂。來隨計吏車。杏園拋曲處。揮袖向風斜。

何處深春好。春深少婦家。能偷新禁曲。自剪入時花。追逐同遊伴。平章貴價車。從來不墮馬。故遣髻鬟斜。

何處深春好。春深幼女家。雙鬟梳頂髻。兩面綉裙花。粧壞頻臨鏡。身輕不占車。鞦韆爭次第。牽拽綵繩斜。

何處深春好。春深蘭若家。當香收柏葉。養蜜近梨花。野逕宜行樂。遊人盡駐車。菜園薤落短。遙見桔槔斜。

何處深春好。春深老宿家。小欄圍蕙草。高架引藤花。四字香書印。三乘壁畫車。遲迴聽句偈。雙樹晚陰斜。

何處深春好。春深種蒔家。分畦十字水。接樹兩般花。櫛比栽籬槿。咿啞轉井車。可憐高處望。基布不曾斜。

何處深春好。春深稚子家。爭騎一竿竹。偷折四隣花。笑擊羊皮鼓。行牽犢領車。中庭貪夜戲。不覺玉繩斜。

○

送令狐相公赴太原 (2685)

白居易

六蠶雙旌萬鐵衣。并汾舊路滿光輝。青衫書記何年去。紅旆將軍昨日歸。詩作馬蹄隨筆走。獵酣鷹翅伴觥飛。北都莫作多時計。再為蒼生入紫微。

和白侍郎送令狐相公鎮太原 (684)

劉禹錫

十萬天兵貂錦衣。晉城風日斗生輝。行臺僕射新恩重。從事中郎舊路歸。疊鼓蹙成汾水浪。閃旗驚斷塞鴻飛。邊庭自此無烽火。擁節還來坐紫微。

○

寄劉蘇州 (2700)

白居易

去年八月哭微之。今年八月哭敦詩。何堪老淚交流日。多是秋風搖落時。泣罷幾迴深自念。情來一倍苦相思。同年同病同心事。除却蘇州更是誰。

酬樂天見寄 (687)

劉禹錫

元君後輩先零落。崔相同年不少留。華屋坐來能幾日。夜臺歸去便千秋。背時猶自居三品。三川吳郡品同得老終須卜一丘。投老之日願樂天為鄰若使吾徒還早達。亦應簫鼓入松楸。

○

秋夕不寐寄樂天 (685)

劉禹錫

洞戶夜簾卷。華堂秋簟清。螢飛過池影。蛩思遶堦聲。老枕知將雨。高牕報欲明。何人譜此景。遠問白先生。

酬夢得秋夕不寐見寄 (2703)

白居易

碧簾絳紗帳。夜涼風景清。病聞和藥氣。渴聽碾茶聲。露竹偷燈影。烟松護月明。何言千里隔。秋思一時生。

○

憶夢得 (2705)

白居易

齒髮各蹉跎。疎慵與病和。愛花心在否。見酒興如何。年長風情少。官高俗慮多。幾時紅燭下。聞唱竹枝歌。

答樂天見憶 (688)

劉禹錫

與老無期約。到來如等閑。偏傷朋友盡。移與子孫間。筆底心猶毒。杯前膽不豨。呼關

唯餘憶君夢，飛過武牢關。

○

失婢 (2707)

白居易

宅院小牆庫坊門帖傍遲，舊恩慚自薄。前事悔難追，籠鳥無常主。風花不戀枝，今宵在何處。唯有月明知。

和樂天誚失婢勝者 (683)

劉禹錫

把鏡朝猶在，添香夜不歸。鴛鴦拂瓦去，鸚鵡透籠飛。不逐張公子，卽隨劉武威。新知正相樂，從此脫青衣。

○

贈夢得 (2716)

白居易

心中萬事不思量，坐倚屏風臥向陽。漸覺詠詩猶老醜，豈宜憑酒更麤狂。頭垂白髮我思退，脚蹋青雲君欲忙。祇有今春相伴在，花前臙醉兩三場。

答樂天戲贈 (610)

劉禹錫

才子聲名白侍郎，風流雖老尙難當。詩情逸似陶彭澤，齋日多如周太常。矻矻將心求淨法，時時偷眼看春光。知君技癢思歡宴，欲倩天魔破道場。

○

將至東都先寄令狐留守 (2722)

白居易

黃鳥無聲葉滿枝，閑吟想到洛城時。惜逢金谷三春盡，恨拜銅樓一月遲。詩境忽來還自得，醉鄉潛去與誰期。東都添箇狂賓客，先報壺觴風月知。

和留守令狐相公答白賓客 (664)

劉禹錫

蛟龍和風吹樹枝，商山逸客出關時。身無拘束起長晚，路足交親行自遲。官拂象筵終日待，私將雞黍幾人期。君來不用飛書報，萬戶先從紙貴知。

○

「劉白唱和集」稿

始聞蟬有懷白賓客去歲白有聞蟬見寄詩云祇應催我老兼遣報君知之句 (665)

劉禹錫

蟬韻極清切，始聞何處悲。人含不平意，景值欲秋時。此歲方晚晚，誰家無別離。君言催我老，已是去年詩。

答夢得聞蟬見寄 (2738)

白居易

開緘思浩然，獨詠晚風前。人貌非前日，蟬聲似去年。槐花新雨地，柳影欲秋天。聽罷無他計，相思又一篇。

○

送劉郎中赴任蘇州 (2787)

白居易

仁風膏雨去隨輪，勝境歡遊到逐身。水驛路穿兒店月，花船棹入女湖春。宣城獨詠窗中岫，柳惲單題汀上蘋。何似姑蘇詩太守，吟詩相繼有三人。

赴蘇州酬別樂天 (673)

劉禹錫

吳郡魚書下紫宸，長安旣吏送朱輪。二南風化承遺愛，八詠聲名躡後塵。梁氏夫妻爲寄客，陸家兄弟是州民。江城春日追遊處，共憶東都舊主人。

○

福先寺雪中餞劉蘇州 (2788)

白居易

送君何處展離筵，大梵王宮大雪天。庾嶺梅花落歌管，謝家柳絮撲金田。亂從紈袖交加舞，醉入籃輿取次眠。却笑召鄒兼訪戴，只持空酒駕空船。

福先寺雪中酬別樂天 (675)

劉禹錫

龍門賓客會龍宮，東去旌旗駐上東。二八笙歌雲幕下，三千世界雪花中。離堂未暗排紅燭，別曲含淒颺晚風。才子從今一分散，便將詩詠嚮吳儂。

○

醉中重留夢得 (2789)

白居易

劉郎劉郎莫先起。蘇臺蘇臺隔雲水。酒盞來從一百分。馬頭去使三千里。

醉答樂天 (676)

劉禹錫

洛城洛城何日歸。故人故人今轉稀。莫嗟雪裏暫時別。終擬雲間相逐飛。

○

分司初到洛中偶題六韻兼戲呈馮尹 (2811)

白居易

相府念多病。春宮容不才。官銜依口得。奉祿逐身來。白首林園在。紅塵車馬迴。招呼

新客旅。掃掠舊池臺。小舫宜攜樂。新荷好蓋盃。不知金谷主。早晚賀筵開。

遙和白賓客分司初到洛中戲呈馮尹 (663)

劉禹錫

西辭望苑去。東占洛陽才。度嶺無歸思。看山不懊來。冥鴻何所慕。遼鶴乍飛迴。洗竹

通新逕。攜琴上舊臺。塵埃長者轍。風月故人杯。聞道龍門峻。還因上客開。

○

嘗黃醅新耐憶微之 (2816)

白居易

世間好物黃醅酒。天下閑人白侍郎。愛向卯時謀洽樂。亦曾西日放籠狂。醉來枕麴

貧如富。身後堆金有若亡。元九計程殊未到。甕頭一盞共誰嘗。

樂天寄洛下新詩兼喜微之欲到因以杼懷也 (667)

劉禹錫

松間風未起。萬葉不自吟。池上月未來。清輝同夕陰。宮徵不獨運。墳篋自相尋。一從

別樂天。詩思日已沈。吟君洛中作。精絕百鍊金。乃知孤鶴情。月露爲知音。微之從東

來。威鳳鳴歸林。羨君先相見。一豁平生心。

○

府西池北新葺水齋卽事招賓偶題十六韻 (2879)

白居易

繚繞府西面。潺湲池北頭。鑿開明月峽。決破白蘋洲。清淺漪瀾急。寅緣浦嶼幽。直衝

行徑斷。平入臥齋流。石疊青稜玉。波翻白片鷗。噴時千點雨。澄處一泓油。絕境應難

別。同心豈易求。少逢人愛翫。多是我淹留。夾岸鋪長簾。當軒泊小舟。枕前看鶴浴。床

下見魚游。洞戶斜開扇。疎簾半上鉤。紫浮萍泛泛。碧亞竹脩脩。讀罷書仍展。碁終局

未收。午茶能散睡。卯酒善銷愁。簷雨晚初霽。牕風涼欲休。誰能伴老尹。時復一閑遊。

(672)

劉禹錫

公府有高政。新齋池上開。再吟佳句後。一似畫圖來。結構疎林下。寅緣曲岸隈。綠波

穿戶闥。碧甃疊瓊環。幽興當軒滿。清光繞砌迴。潭心澄曉鏡。渠口起晴雷。瑤草緣堤

種。松煙上島栽。魚游驚撥刺。鷺浴喜毳毳。爲客烹林笋。因僧採石苔。酒餅常不罄。書

案任成堆。簷外青雀舫。坐中鸚鵡杯。蒲根抽九節。蓮蕊捧重臺。芳訊此時到。勝遊何

日陪。共譏吳太守。自占洛陽才。

○

哭崔兒 (2880)

白居易

掌珠一顆兒三歲。鬢雪千莖父六旬。豈料汝先爲異物。常憂吾不見成人。悲腸自斷

非因劍。啼眼加昏不是塵。懷抱又空天默默。依前重作鄧攸身。

初喪崔兒報微之晦叔 (2881)

白居易

書報微之晦叔知。欲題崔字淚先垂。世間此恨偏敦我。天下何人不哭兒。蟬老悲鳴

拋蛻後。龍眠驚覺失珠時。文章十帙官三品。身後傳誰庇蔭誰。

吟白君哭崔兒二篇愴然寄贈 (670)

劉禹錫

吟君苦調我霑纓。能使無情盡有情。四望車中心未釋。千秋亭下賦初成。庭梧已有

鶴栖處。池鶴今無子和聲。從此期君比瓊樹。一枝吹折一枝生。

○

府齋感懷酬夢得 (2882)

白居易

府伶呼喚爭先到。家醞提攜動輒隨。合是人生開眼日。自當年老斂眉時。丹砂鍊作

三銖土。玄髮看成一把絲。勞寄新詩遠安慰。不聞枯樹更生枝。

答樂天所寄詠懷且釋其枯樹之歎 (671)

劉禹錫

衙前有樂饌常精。宅內連池酒任傾。自是官高無狎客。不論年長少歡情。駭龍領被探珠去。老蚌胎還應月生。莫羨三春桃與李。桂花成實嚮秋榮。

○ 冬日晨興寄樂天 (686)

劉禹錫

庭樹曉禽動。郡樓殘點聲。燈挑紅燼落。酒煖白光生。髮少嫌梳利。顏衰恨鏡明。獨吟誰應和。須寄洛陽城。

和夢得冬日晨興 (2907)

白居易

漏傳初五點。雞報第三聲。帳下從容起。窗間曉曉明。照書燈未滅。煖酒火重生。理曲絃歌動。先聞唱渭城。

○ 贈晦叔憶夢得 (2909)

白居易

自別崔公四五秋。因何臨老轉風流。歸來不說秦中事。欲定唯謀洛下遊。酒面浮花應是喜。歌眉斂黛不關愁。得君更有無厭意。猶恨樽前缺老劉。

河南白尹有喜崔賓客歸洛兼見懷長句因而繼和 (691)

劉禹錫

幾年侍從作名臣。却向青雲索得身。朝士忽爲方外士。主人仍是眼中人。雙鸞遊處天京好。五馬行時海嶠春。遙羨光陰不虛擲。肯令絲竹暫生塵。

○ 立秋夕有懷夢得 (2965)

白居易

露簾荻竹清。風扇蒲葵輕。一與故人別。再見新蟬鳴。是夕涼颯起。閑境入幽情。迴燈見棲鶴。隔竹聞吹笙。夜茶一兩杓。秋吟三數聲。所思渺千里。雲外長洲城。

酬樂天七月一日夜即事見寄 (695)

劉禹錫

夜樹風韻清。天河雲彩輕。故苑多露草。隔城聞鶴鳴。搖落從此始。別離含遠情。聞君

「劉白唱和集」稿

當是夕。倚瑟吟商聲。外物豈不足。中懷向誰傾。秋來念歸去。同聽嵩陽笙。

○ 洛陽春贈劉李二賓客齊梁格 (3001)

白居易

水南冠蓋地。城東桃李園。雪銷洛陽堰。春入永通門。淑景方靄靄。遊人稍喧喧。年豐酒漿賤。日晏歌吹繁。中有老朝客。華髮映朱軒。從容三兩人。藉草開一樽。樽前春可惜。身外事勿論。明日期何處。杏花遊趙村。

和樂天洛城春齊梁體八韻 (787)

劉禹錫

帝城宜春入。遊人喜意長。草生季倫谷。花出莫愁坊。斷雲發山色。輕風漾水光。樓前戲馬地。樹下鬪雞場。白頭自爲侶。綠酒亦滿觴。潘園觀種植。謝墅閱池塘。至間似隱逸。過老不悲傷。相問爲功德。銀黃遊故鄉。

○ 小臺晚坐憶夢得 (3046)

白居易

汲泉灑小臺。臺上無纖埃。解帶面西坐。輕襟隨風開。晚涼閑興動。憶同傾一盃。月明候柴戶。藜杖何時來。

酬樂天小臺晚坐見憶 (810)

劉禹錫

小臺堪遠望。獨上清秋時。有酒無人勸。看山祇自知。幽禽轉深竹。孤蓮落靜池。高門勿遽掩。好客無前期。

○ 秋涼閑臥 (3049)

白居易

殘暑晝猶長。早涼秋尚嫩。露荷散清香。風竹含疎韻。幽閑竟日臥。衰病無人問。薄暮宅門前。槐花深一寸。

和樂天秋涼閑臥 (812)

白居易

暑退人體輕。雨餘天色改。荷珠貫索斷。竹粉殘妝在。高僧掃室請。逸客登樓待。槐柳

漸蕭疎。閉門少光彩

○ 早春醉吟寄太原令狐相公蘇州劉郎中 (3061)

白居易

雪夜閑遊多秉燭。花時鬻出亦提壺。別來少遇新詩敵。老去難逢舊飲徒。大振威名降北虜。勤行惠化活東吳。不知歌酒騰騰興。得似河南醉尹無

○ 和樂天洛下醉吟寄太原令狐相公兼見懷長句 (693)

劉禹錫

舊相臨戎非稱意。詞人作尹本多情。從容自使邊塵靜。談笑不聞桴鼓聲。章句新添塞下曲。風流舊占洛陽城。昨來亦有吳趨詠。唯寄東都與北京

○ 郡齋書懷寄江南白尹兼簡分司崔賓客 (694)

劉禹錫

謾讀圖書三十車。年年爲郡老天涯。一生不得文章力。百口空爲飽暖家。綺季衣冠稱鬢面。吳公政事副詞華。還思謝病今歸去。同醉城東桃李花

○ 和夢得 (3074)

白居易

綸閣沉沉無寵命。蘇臺籍籍有能聲。豈唯不得清文力。但恐空傳冗吏名。郎署迴翔何水部。江湖留滯謝宣城。所嗟非獨君如此。自古才難共命爭

○ 微之敦詩晦叔相次長逝歸然自傷因成一絕 (3078)

白居易

併失鸕鷀侶。空留麋鹿身。只應嵩洛下。長作獨遊人

○ 又一首 (3079)

長夜君先去。殘年我幾何。秋風滿衫淚。泉下故人多

○ 樂天見示傷微之敦詩晦叔三君子皆有深分因成是詩以寄 (702)

劉禹錫

吟君歎逝雙絕句。使我傷懷奏短歌。世上空驚故人少。集中唯覺祭文多。芳林新葉

催陳葉。流水前波讓後波。萬古到今同此恨。聞琴泪盡欲如何

○ 自問 (3094)

白居易

依仁臺廢悲風晚。腹信池荒宿草春。自問老身騎馬出。洛陽城裏覓何人

○ 吟樂天自問愴然有作 (697)

劉禹錫

親友關心皆不見。風光滿眼倍傷神。洛陽城裏多池館。幾處花開有主人

○ 秋日書懷寄白賓客 (699)

劉禹錫

州遠雄無益。年高健亦衰。興情逢酒在。筋力上樓知。蟬噪芳意盡。鴈來愁望時。商山紫芝客。應不向愁悲

○ 答夢得秋日書懷見寄 (3097)

幸免非常病。甘當本分衰。眼昏燈最覺。腰瘦帶先知。樹葉霜紅日。髭鬚雪白時。悲愁緣欲老。老過却無悲

○ 同諸客題于家公主舊宅 (3098)

白居易

平陽舊宅少人遊。應是遊人到即愁。春穀鳥啼桃李院。絡絲蟲怨鳳凰樓。臺傾滑石猶殘砌。簾斷眞珠不滿鉤。聞道至今蕭史在。髭鬚雪白向明州

○ 題于家公主舊宅 (696)

劉禹錫

樹繞荒臺葉滿池。簫聲一絕草蟲悲。鄰家猶學宮人髻。園客爭偷御果枝。馬埒蓬蒿藏狡兔。鳳棲煙雨嘯愁鴟。何郎獨在無恩澤。不似當初傅粉時

○ 八月十五日夜半雲開然後翫月因書一時之景寄呈樂天 (698)

劉禹錫

半夜碧雲收。中天素月流。開城邀好客。置酒賞新秋。影透衣香潤。光凝歌黛愁。斜輝猶可翫。移宴上西樓。

答夢得八月十五日夜翫月見寄 (3099)

白居易

南國碧雲客。東京白首翁。松江初有月。伊水正無風。遠思兩鄉斷。清光千里同。不知娃館上。何似石樓中。

初冬早起寄夢得 (3100)

白居易

起戴烏紗帽。行披白布裘。爐溫先煖酒。手冷未梳頭。早景烟霜白。初寒鳥雀愁。詩成遣誰和。還是寄蘇州。

酬樂天初冬早寒見寄 (701)

劉禹錫

乍起衣猶冷。微吟帽半欹。霜凝南屋瓦。鷄唱後園枝。洛水碧雲曉。吳宮黃葉時。兩傳千里意。書札不如詩。

喜劉蘇州恩賜金紫遙想賀宴以詩慶之 (3106)

白居易

海內姑蘇太守賢。恩加章綬豈徒然。賀賓喜色欺盃酒。醉妓歡聲遏管絃。魚佩葺鱗光照地。鸛銜瑞帶勢冲天。莫嫌嶺上些些白。金紫由來稱長年。

酬樂天見貽賀金紫之什 (700)

劉禹錫

久學文章含白鳳。却因政事賜金魚。郡人未識聞謠詠。天子知名與詔書。珍重和詩呈錦繡。願言歸計並園廬。舊來詞客多無位。金紫同遊誰得如。

楊柳枝詞八首 (3138~3145)

白居易

六么水調家家唱。白雪梅花處處吹。古歌舊曲君休聽。聽取新翻楊柳枝。
陶令門前四五樹。亞夫營裏百千條。何似東都正二月。黃金枝映洛陽橋。

「劉白唱和集」稿

依依嫋嫋復青青。勾引清風無恨情。白雪花繁空撲地。綠絲條弱不勝鶯。紅板江橋青酒旗。館娃宮暖日斜時。可憐雨歇東風定。萬樹千條各自垂。蘇州楊柳任君誇。更有錢塘勝館娃。若解多情尋小小。綠楊深處是蘇家。蘇家小女舊知名。楊柳風前別有情。剝條盤作銀環樣。卷葉吹爲玉笛聲。葉含濃露如啼眼。枝嫋輕風似舞腰。小樹不禁攀折苦。乞君留取兩三條。人言柳葉似愁眉。更有愁腸似柳絲。柳絲挽斷腸牽斷。彼此應無續得期。

楊柳枝詞八首 (3133~3140)

劉禹錫

塞北梅花羌笛吹。淮南桂樹小山詞。請君莫奏前朝曲。聽唱新翻楊柳枝。南陌東城春早時。相逢何處不依依。桃紅李白皆誇好。須得垂楊相發揮。鳳闕輕遮翡翠幃。龍蹕遙望麴塵絲。御溝春水相暉映。狂殺長安年少兒。金谷園中鶯亂飛。銅駝陌上好風吹。城東桃李須臾盡。爭似垂楊無限時。花萼樓前初種時。美人樓上鬪腰支。如今拋擲長街裏。露葉如啼欲恨誰。楊帝行宮泫水濱。數株殘柳不勝春。晚來風起花如雪。飛入宮牆不見入。御陌青門拂地垂。千條金縷萬條絲。如今縮作同心結。將贈行人知不知。城外春風吹酒旗。行人揮袂日西時。長安陌上無窮樹。唯有垂楊管別離。

浪淘沙詞六首 (3146~3151)

白居易

一泊沙來一泊去。一重浪減一重生。相攪相淘無歇日。會教山海一時平。白茫茫茫與海連。平沙浩浩四無邊。暮去朝來淘不住。遂令東海變桑田。青草湖中萬里程。黃梅雨裏一人行。愁見灘頭夜泊處。風翻暗浪打船聲。借問江湖與海水。何似君情與妾心。相恨不如潮有信。相思始覺海非深。海底飛塵終有日。山頭化石豈無時。誰道小郎拋小婦。船頭一去沒迴期。隨波逐浪到天涯。遷客生還有幾家。却到帝鄉重富貴。請君莫忘浪淘沙。

浪濤沙詞九首 (342~349)

劉禹錫

九曲黃河萬里沙。浪濤風簸白天涯。如今直上銀河去。同到牽牛織女家。
 洛水橋邊春日斜。碧流輕淺見瓊砂。無端陌上狂風急。驚起鴛鴦出浪沙。
 汴水東流虎眼文。清淮晚色鴨頭春。君看渡口濤沙處。渡却人間多少人。
 鸚鵡舟頭浪颭沙。青樓春望日將斜。銜泥鷺子爭歸舍。獨自狂夫不憶家。
 濯錦江邊兩岸花。春風吹浪正濤沙。女郎翦下鴛鴦錦。將罽中流定晚霞。
 日照澄州江霧開。淘金女伴滿江隈。美人手飾侯王印。盡是沙中浪底來。
 八月濤聲吼地來。頭高數丈觸山迴。須臾却入海門去。卷起沙堆似雪堆。
 莫道讒言如浪深。莫言遷客似沙沈。千濤萬灑去雖辛。苦。吹盡狂沙始到金。
 流水濤沙不暫停。前波未減後波生。令人忽憶瀟湘渚。迴唱迎神三兩聲。

○ 新秋喜涼 (318)

白居易

過得炎蒸月。尤宜老病身。衣裳朝不潤。枕簟夜相親。樓月纖纖早。波風嫋嫋新。光陰
 與時節。先感是詩人。

酬樂天感秋涼見寄 (802)

劉禹錫

庭晚初辨色。林秋微有聲。槿衰猶強笑。蓮迥却多情。簷鷺歸心動。羈鷹俊氣生。閒人
 占閒景。酒熟且同傾。

○ 閑園獨賞 (3213)

白居易

午後郊園靜。晴來景物新。雨添山氣色。風借水精神。永日若爲度。獨遊何所親。仙禽
 狎君子。芳樹倚佳人。蟻鬪王爭肉。蝸移舍逐身。蝶雙知伉儷。蜂聚見君臣。蟲動形雖
 小。逍遙性即均。不知鵬與鷁。相去幾微塵。

和樂天閑園獨賞八韻前以蜂鶴拙句寄呈今辱蝸蟻妍詞見答因成

小巧以收大哈 (769)

劉禹錫

永日無人事。芳園注興行。陶廬樹可愛。潘宅雨新晴。傅粉琅玕節。薰音齒莖莖。榴花
 裙色好。桐子藥丸成。柳蠹枝偏亞。桑閑葉再生。睚眦欲鬪雀。索漠不言鶯。動植隨四
 氣。飛沈含五情。槍榆與水擊。小大強爲名。

○ 劉蘇州寄釀酒糯米李浙東寄楊柳枝舞衫偶因嘗酒試衫輒成長句

寄謝之 (3223)

白居易

柳枝慢踏試雙袖。桑落初香嘗一盃。金屑醅濃吳米釀。銀泥衫穩越娃裁。舞時已覺
 愁眉展。醉後仍教笑口開。慚愧故人憐寂寞。三千里外寄歡來。

○ 酬樂天衫酒見寄 (770)

劉禹錫

酒法衆傳吳米好。舞衣偏尙越羅輕。動搖浮蟻香濃甚。裝束輕鴻意態生。閑曲定知
 能自適。舉杯應歎不同傾。終朝相憶終年別。對景臨風無限情。

○ 詠老贈夢得 (3233)

白居易

與君俱老也。自問老何如。眼澁夜先臥。頭慵朝未梳。有時扶杖出。盡日閉門居。懶照
 新磨鏡。休看小字書。情於故人重。跡共少年疎。唯是閑談興。相逢尙有餘。

○ 酬樂天詠老見示 (815)

劉禹錫

人誰不願老。老去有誰憐。身瘦帶頻減。髮稀冠自偏。廢書緣惜眼。多炙爲隨年。經事
 還諳事。閱人如閱川。細思皆幸矣。下此便翛然。莫道桑榆晚。爲霞尙滿天。

○ 閑臥寄劉同州 (3239)

白居易

軟褥短屏風。昏昏醉臥翁。鼻香茶熟後。腰暖日陽中。伴老琴長在。迎春酒不空。可憐
 閑氣味。唯缺與君同。

酬樂天閑臥見憶 (766)

劉禹錫

散誕向陽眠。將閑敵地仙。詩情茶助爽。藥力酒能宣。風碎竹間日。露明池底天。同年未同隱。緣欠買山錢。

喜見劉同州夢得 (3241)

白居易

紫綬白鬚鬚。同年二老夫。論心共牢落。見面而歡娛。酒好攜來否。詩多記得無。應須爲春草。五馬少踟蹰。

酬喜相遇同州與樂天替代 (774)

劉禹錫

舊託松心契。新交竹使符。行年同甲子。筋力羨丁夫。別後詩成秩。攜來酒滿壺。今朝停五馬。不獨爲羅敷。前章所言春草白君之舞妓也故有此答

喜夢得白馮翊歸洛兼呈令公 (3282)

白居易

上客新從左輔迴。高陽興助洛陽才。已將四海聲名去。又占三春風景來。甲子等頭鄰共老。文章敵手莫相猜。鄒枚未用爭詩酒。且飲梁王賀喜盃。

自在馮歸洛下酬樂天兼呈裴令公 (776)

劉禹錫

新恩通籍在龍樓。分務神都近舊丘。自有園公紫芝侶。時實行四人盡在洛中仍追少傅赤松遊。華林霜葉紅霞晚。伊水晴光碧玉秋。更接東山文酒會。始知江左未風流。王儉云江左風流宰相惟有謝安公

齋戒滿夜戲招夢得 (3283)

白居易

紗籠燈下道場前。白日持齋夜坐禪。無復更思身外事。未能全盡世間緣。明朝又擬親盃酒。今夕先聞理管絃。方丈若能來問疾。不妨兼有散花天。

和樂天齋戒月滿夜對道場偶懷詠 (778)

劉禹錫

常脩清淨去繁華。人識王城長者家。案上香煙鋪貝葉。佛前燈焰透蓮花。持齋已滿招間客。理曲先聞命小娃。明日若過方丈室。還應問爲法來邪。

秋齋獨坐寄樂天兼呈吳方之大夫 (777)

劉禹錫

空齋寂寂不生塵。藥物方書繞病身。織草數莖勝靜地。幽禽忽至似佳賓。世間憂喜雖無定。釋氏銷磨盡有因。同向洛陽閑度日。莫教風景屬他人。

答夢得秋庭獨坐見贈 (3287)

白居易

林梢隱映夕陽殘。庭際蕭疎夜氣寒。霜草欲枯虫思急。風枝未定鳥棲難。容衰見鏡同惆悵。身健逢盃且喜歡。應是天教相煖熱。一時垂老與閑官。

長齋月滿攜酒先與夢得對酌醉中同赴令公之宴戲贈夢得 (3288)

白居易

齋宮前日滿三旬。酒榼今朝一拂塵。乘興還同訪戴客。解醒仍對姓劉人。病心湯沃寒灰活。老面花生幻木春。若怕平原怪先醉。知君未慣吐車茵。

酬樂天齋滿日裴令公置宴席上戲贈 (780)

劉禹錫

一月道場齋戒滿。今朝華幄管絃迎。銜杯本自多狂態。事佛無妨有佞名。酒力半酣愁已散。文鋒未鈍老猶爭。平陽不獨容賓醉。聽取誼呼吏舍聲。

吳祕監每有美酒獨酌獨醉但蒙詩報不以飲招輒此戲此戲酬兼呈

夢得 (3290)

白居易

逢山仙客下烟霄。對酒唯吟獨酌謠。不怕道狂揮玉爵。亦曾乘興換金貂。君稱名士誇能飲。我是愚夫肯見招。賴有伯倫爲辭伴。何愁不解傲松喬。

吳方之見示獨酌小醉首篇樂天續有酬答皆含戲謔極至風流兩篇

之中並蒙見屬。輒呈濫吹益美來章 (779)

劉禹錫

與夢得偶同到敦詩宅感而題壁 (3300)

白居易

問門共菽任張羅。靜室同虛養太和。塵世歡娛開意少。醉鄉風景獨遊多。散金陳傅尋常樂。枕麴劉生取次歌。計會雪中爭挈榼。鹿裘鶴氅遞相過。

○

酬令公雪中見贈。訝不與夢得同相訪 (3294)

白居易

懷 (824)

劉禹錫

雪似鵝毛飛散亂。人披鶴氅立徘徊。鄒生枚叟非無興。唯待梁王召即來。

答裴令公雪中訝白二十二與諸公不相訪之什 (782)

劉禹錫

玉樹瓊樓滿眼新。的知閑閣待諸賓。遲遲未去非無意。擬作梁園坐右人。

○

題酒甕呈夢得 (3295)

白居易

若無清酒兩三甕。爭向白鬚千萬莖。麴蘖銷愁真得力。光陰催老苦無情。凌烟閣上功無分。伏火爐中藥未成。更擬共君何處去。且來同作醉先生。

酬樂天偶題酒甕見寄 (781)

劉禹錫

從君勇斷拋名後。世路榮枯見幾回。門外紅塵人自走。瓮頭清酒我初開。三冬學任智中有。萬戶侯須骨上來。何幸相招同醉處。洛陽城裏好池臺。

○

對酒勸令公開春遊宴 (3296)

白居易

時泰歲豐無事日。功成名遂自由身。前頭更有忘憂日。向上應無快活人。自去年來多事故。從今日去少交親。宜須數數謀歡會。好作開成第二春。

酬樂天請裴令公開春加宴 (783)

劉禹錫

高名大位能兼有。恣意遨遊是特恩。二室煙霞成步障。三川風物是家園。晨窺苑樹韶光動。晚渡河橋春思繁。絃管常調客常滿。但逢花處即開樽。

○

山東纔副蒼生願。川上俄驚逝水波。履道淒涼新第宅。宣城零落舊笙歌。園荒唯有薪堪採。門冷兼無雀可羅。今日相隨偶同到。傷心不是故經過。

樂天示過敦詩舊宅有感一篇吟之。泫然追想昔事。因成繼和以寄苦。

中洛

○

開成二年三月三日。河南尹李待價以人和歲稔。將禊於洛濱。前一日。

啓留守裴令公。公明日召太子少傅白居易。太子賓客蕭籍。李仍叔。劉禹錫。前中書舍人鄭居中。國子司業裴暉。河南少尹李道樞。倉部郎中崔晉。司封員外郎張可績。駕部員外郎盧言。虞部員外郎苗愔。和州刺史裴儔。淄州刺史裴洽。檢校禮部員外郎楊魯士。四門博士談弘謨等。

一十五人。合宴于舟中。由斗亭歷魏堤。抵津橋。登臨沂沿。自晨及暮。簪組交映。歌笑間發。前水嬉而後妓樂。左筆硯而右壺觴。望之若仙。觀者如堵。盡風光之寶。極遊泛之娛。美景良辰。賞心樂事。盡得於今日矣。若不記錄。謂洛無人。晉公首賦一章。鏗然玉振。顧謂四座繼而和之。居易

舉酒抽毫。奉十二韻以獻 (3312)

白居易

三月草萋萋。黃鶯欲又啼。柳橋晴有絮。沙路潤無泥。禊事修初畢。遊人到欲齊。金鈿

耀桃李。絲管駭鸞鷺。轉岸迴船尾。臨流簇馬蹄。闌于楊子渡。踏破魏王堤。妓接謝公

宴。詩陪荀令題。舟同李膺汎。醴爲穆生攜。水引春心蕩。花牽醉眼迷。塵街從鼓動。烟樹任鴉棲。舞急紅腰凝。歌遲翠黛低。夜歸何用燭。新月鳳樓西。

三月三日與樂天及河南李尹奉陪裴令公泛洛禊飲各賦十二韻

(788)

劉禹錫

洛下今脩禊。羣賢勝會稽。盛筵陪玉鉉。通籍盡金闈。波上神仙妓。岸傍桃李蹊。水嬉如鷺振。歌響雜鶯啼。歷覽風光好。泓澗意思迷。棹歌能儷曲。墨客競分題。翠幄連雲起。香車向道齊。人誇綾步障。馬惜錦障泥。塵暗宮牆外。霞明苑樹西。舟形隨鶴轉。橋影與虹低。川色晴猶遠。鳥聲暮欲棲。唯餘踏青伴。待月魏王堤。

○

同夢得寄賀東西川二楊尚書 (332)

白居易

龍節對持真可愛。鴈行相接更堪誇。兩川風景同三月。千里江山屬一家。魯衛定知聯氣色。潘揚亦覺有光華。應憐洛下分司伴。冷宴閑遊老看花。

寄賀東川楊尚書慕巢兼寄西川繼之二公近從弟兄情分偏睦早忝

遊舊因成是詩 (789)

劉禹錫

太華蓮峯降嶽靈。兩川棠樹接郊坰。政同兄弟人人樂。曲奏填篋處處聽。楊葉百穿榮會府。芝泥五色耀尺庭。各拋筆硯誇旄鉞。莫遣文星讓將星。

○

燒藥不成命酒獨醉 (3327)

白居易

白髮逢秋短。丹砂見火空。不能留姪女。爭免作衰翁。賴有盃中綠。能爲面上紅。少年心不遠。只在半酣中。

和樂天燒藥不成命酒獨醉 (814)

劉禹錫

九轉欲成就。百神陰主持。嬰啼鼎上去。老貌鏡前悲。却顧空丹竈。回心向酒卮。醺然耳熱後。暫似少年時。

○

分司洛中多暇數與諸客宴遊醉後狂吟偶成十韻因招夢得賓客兼

「劉白唱和集」稿

呈思黯奇章公 (3335)

白居易

性與時相遠。身將世兩忘。寄名朝士籍。寓興少年場。老豈無談笑。貧猶有酒漿。隨時求伴侶。逐日用風光。數數遊何爽。些些病未妨。天教榮啓樂。人恕接興狂。改業爲遭客。移家住醉鄉。不論招夢得。兼擬誘奇章。要路風波險。權門市井忙。世間無可戀。不是思量。

酬樂天醉後狂吟十韻 來章有移家住醉鄉之句 (821)

劉禹錫

散誕人間樂。逍遙地上仙。詩家登逸品。釋氏悟眞筌。制誥留臺閣。歌詞入管絃。處身於木鴈。任世變桑田。吏隱情兼遂。儒玄道兩全。八關齋適罷。三雅興尤偏。文墨中年舊。松筠晚歲堅。魚書曾替代。香火有因緣。陸法和云與梁元帝於空王寺佛前結香火因緣 欲向醉鄉去。猶爲色界牽。好吹楊柳曲。爲我舞金鈿。

○

夢得臥病攜酒尋先以此寄 (3338)

白居易

病來知少客。誰可以爲娛。日晏開門未。秋寒有酒無。自宜相慰問。何必待招呼。小疾無妨飲。還須挈一壺。

秋晚病中樂天以詩見問力疾奉酬 (813)

劉禹錫

耳虛多聽遠。展轉晨雞鳴。一室背燈臥。中庭掃葉聲。蘭芳經雨敗。鶴病得秋輕。肯踏衡門草。唯應是友生。

○

令狐僕射與予投分素深。縱山川阻峭。然音問相繼。今年十一月。僕射疾不起。聞予已承計書。寢門長慟。後日有使者兩輩。持書并詩。計其日時。已是臥疾。手筆盈幅。翰墨尙新。新詞一篇。音韻彌切。收淚握管。以成報章。雖廣陵之絃於今絕矣。而蓋泉之感。猶庶聞焉。焚之總帳之前。附於舊編之末。 (764)

劉禹錫

前日寢門慟。至今悲有餘。已嗟萬化盡。方見八行書。滿紙傳相憶。裁詩怨索居。危絃音有絕。哀玉韻猶虛。忽歎幽明異。俄驚歲月除。文章雖不朽。精魄竟焉如。零淚沾青簡。傷心見素車。淒涼從此後。無復望雙魚。

令孤相公與夢得交情素深。眷予分亦不淺。一聞薨逝。相顧泫然。旋有

使來。得前月未歿之前數日書及詩寄贈。夢得哀吟悲歎。寄情於詩。

成示予感而繼和 (3341)

白居易

緘題重疊語殷勤。存歿交親自此分。前月使來猶理命。今朝詩到是遺文。銀鈎見晚書無報。玉樹埋深哭不聞。最感一行絕筆字。尙言千萬樂天君。

○

洛下雪中頻與劉李二賓客宴集因寄汴州李尙書 (3342) 白居易

水南水北雪紛紛。雪裏歡遊莫厭頻。日日暗來唯老病。年年少去是交親。碧氈帳暖梅花溼。紅燎爐香竹葉春。今日鄒枚俱在洛。梁園置酒召何人。

和樂天洛雪中宴集寄汴州李尙書 (791)

劉禹錫

洛城無事足杯盤。風雪相和歲欲闌。樹上因依見寒鳥。坐中收拾盡閒官。笙歌要請頻何爽。笑語忘機拙更歡。遙想免園今日會。瓊林滿眼映旂竿。

○

病臥李侍郎見惠藥物謹以文星之句 (808)

劉禹錫

隱几支頤對落暉。故人書信到柴扉。周南留滯商山老。星象如今屬少微。

看夢得題答李侍郎詩中有文星之句因戲和之 (3343) 白居易

看題錦繡報瓊環。俱是人天第一才。好遣文星守躡次。亦須防有客星來。

○

酬裴令公贈馬相戲 (3346)

白居易

安石風流無奈何。欲將赤驥換青娥。不辭便送東山去。臨老何人與唱歌。

裴令公見示樂天寄奴買馬絕句斐然仰和且戲樂天 (818)

劉禹錫

常奴安得似方回。爭望追風絕足來。若把翠娥酬綠耳。始知天下有奇才。

○

新歲贈夢得 (3347)

白居易

暮齒忽將及。同心私自憐。漸衰宜減食。已喜更加年。紫綬行聯袂。籃輿出比肩。與君同甲子。歲酒合誰先。

元日樂天見過因舉酒爲賀 (817)

劉禹錫

漸入有年數。喜逢新歲來。震方天籟動。寅位帝車回。門巷掃殘雪。林園驚早梅。與君同甲子。壽酒讓先杯。

○

奉和思黯自題南莊見示兼呈夢得 (3350)

白居易

謝家別墅最新奇。山展屏風花夾籬。曉月漸沈橋脚底。晨光初照屋梁時。臺頭有酒鶯呼客。水面無塵風洗池。除却吟詩兩閑客。此中情狀更誰知。

和牛相公遊南莊醉後寓言戲贈樂天兼見示 (797)

劉禹錫

城外園林初夏天。就中野趣在西偏。薔薇亂發多臨水。鸚鵡雙遊不避舡。水底遠山雲似雪。橋邊平岸草如煙。白家唯有杯觴興。欲把頭盤打少年。

○

樂天少傅五月長齋廣延緇徒謝絕文友坐成賸問因以戲之 (799)

劉禹錫

五月長齋戒。深居絕送迎。不離通德里。便是法王城。舉目皆僧事。全家少俗情。精脩無上道。結念未來生。賓閣田衣占。書堂信鼓鳴。戲童爲塔象。啼鳥學經聲。黍用青菰角。葵承玉露烹。馬家供薏苡。劉氏餉蕪菁。暗網籠歌扇。流塵晦酒鐙。不知何次道。作

佛幾時成。

酬夢得以予五月長齋延僧徒絕賓友見戲十韻 (3357)

白居易

賓客懶逢迎。悠然池館清。簾閑空燕語。林靜未蟬鳴。葷血還休食。盃觴亦罷傾。三春多放逸。五月暫修行。香印朝烟細。紗燈夕焰明。交遊諸長老。師事古先生。禪後心彌寂。齋來體更輕。不唯忘肉味。兼擬滅風情。蒙以聲聞待。難將戲論爭。虛空若有佛。靈運恐先成。

○

奉和思黯相公以李蘇州所寄太湖石奇狀絕倫因題二十韻見示兼

呈夢得 (3362)

白居易

錯落復崔嵬。蒼然玉一堆。峯駢仙掌出。罅坼劍門開。峭頂高危矣。盤根下壯哉。精神欺竹樹。氣色壓亭臺。隱起磷磷狀。凝成瑟瑟胚。廉稜露鋒刃。清越扣瓊瑰。岌業形將動。巍峨勢欲摧。奇應潛鬼怪。靈合蓄雲雷。黛潤靄新雨。班明點古苔。未曾棲鳥雀。不肯染塵埃。尖削琅玕筍。窪剜馬瑙瑤。海神移碣石。畫障簇天台。在世爲尤物。如人負逸才。渡江一草載。入洛五丁推。出處雖無意。升沉亦有媒。拔從水府底。置向相庭隈。對稱吟詩句。看宜把酒盃。終隨金礪用。不學玉山頹。疏傅心偏愛。園公眼屢迴。共嗟無此分。虛管太湖來。

牛相公題姑蘇所寄太湖石兼寄李蘇州 (306)

劉禹錫

震澤生奇石。沈潛得地靈。初辭水府出。猶帶龍宮腥。發自江湖國。來榮卿相庭。從風夏雲勢。上漢古查形。拂拭魚鱗見。鏗鏘玉韻聆。煙波含宿潤。苔蘚助新青。嵌穴胡鷄貌。織韃蟲篆銘。虜顏傲林薄。飛動向雷霆。煩熱近還散。餘醒見便醒。凡禽不敢息。浮盞莫能停。靜稱垂松蓋。鮮宜映鶴翎。忘憂常日繫。素尚與心冥。眇小欺湘鷺。團圓笑落星。徒然想融結。安可測年齡。採取詢鄉耆。搜求按舊經。垂鈎入空隙。隔浪動晶荧。有獲人爭賀。歡謠衆共聽。一州驚閱寶。千里遠揚舲。觀物洛陽陌。懷人吳御亭。寄言

「劉白唱和集」稿

垂天翼。早晚起滄溟。

○

晚夏閑居絕無賓客欲尋夢得先寄此詩 (3364)

白居易

魚笱朝殮飽。蕉紗暑服輕。欲爲牕下寢。先傍水邊行。晴引鶴雙舞。秋生蟬一聲。無人解相訪。有酒共誰傾。老更諳時事。閑多見物情。只應劉與白。二叟自相迎。

酬樂天晚夏閑居欲相訪先以詩見貽 (801)

劉禹錫

池榭堪臨泛。翛然散鬱陶。步因驅鶴緩。吟爲聽蟬高。林密添新竹。枝低緹晚桃。酒醅晴易壘。藥圃夏頻薶。老是班行舊。問爲鄉里豪。經過更何處。風景屬吾曹。

○

憶江南詞三首 (3366-3367-3368)

白居易

江南好。風景舊曾諳。日出江花紅勝火。春來江水綠如藍。能不憶江南。
江南憶。最憶是杭州。山寺月中尋桂子。郡亭枕上看潮頭。何日更重遊。
江南憶。其次憶吳宮。吳酒一盃春竹葉。吳娃雙舞醉芙蓉。早晚復相逢。

和樂天春詞依憶江南拍爲句 (807)

劉禹錫

春去也。多謝洛城人。弱柳從風疑舉袂。叢蘭裊露似霑巾。獨坐亦含嚬。

○

新秋對月寄樂天 (809)

劉禹錫

月露發光彩。此時方見秋。夜涼金氣應。天靜火星流。蛩響偏依井。螢飛直過樓。相知盡白首。清景沒追遊。

酬夢得早秋夜對月見寄 (3372)

白居易

吾衰寡情趣。君病懶經過。其奈西樓上。新秋明月何。庭蕪凝白露。池色澹金波。况是初長夜。東城砧杵多。

○

與夢得沽酒閑飲且約後期 (3317)

白居易

少時猶不憂生計。老後誰能惜酒錢。共把十千沽一斗。相看七十缺三年。閑徵稚子窮經史。醉聽清吟勝管絃。更待菊黃家醞熟。共君一醉一陶然。

樂天以愚相訪沽酒致歡因成七言聊以奉答 (803)

劉禹錫

少年曾醉酒旗下。同輩黃衣領亦黃。蹴踏青雲尋入仕。蕭條白髮且飛觴。令徵古事歡生雅。客喚閒人與在狂。猶勝獨居荒草院。蟬聲聽盡到寒蟬。

秋晚新晴夜月如練有懷樂天 (804)

劉禹錫

雨歇晚霞明。風調夜景清。月高微暈散。雲薄細鱗生。露草百蟲思。秋林千葉聲。相望一步地。脉脉萬重情。

酬夢得暮秋晴夜對月相憶 (3389)

白居易

露月光如練。盈庭復滿地。秋深無熱後。夜淺未寒時。露葉團荒菊。風枝落病梨。相思懶相訪。應是各年衰。

病中詩十五首之別柳枝 (3419)

白居易

兩枝楊柳小樓中。婀娜多年伴醉翁。明日放歸歸去後。世間應不要春風。

劉禹錫

楊柳枝詞九首之第九 (341)

輕盈婀娜占年華。舞榭妝樓處處遮。春盡絮飛留不得。隨風好去落誰家。前有別柳枝絕句。夢得繼和云。春盡絮飛留不得。隨風好去落誰家。又復戲答 (3418)

白居易

柳老春深日又斜。任他飛向別人家。誰能更學孩童戲。尋逐春風捉柳花。

○

開成二年夏聞新蟬贈夢得 (3509)

白居易

十載與君別。常感新蟬鳴。今年共君聽。同在洛陽城。噪處知林靜。聞時覺景清。涼風忽嫋嫋。秋思先秋生。殘槿花邊立。老槐陰下行。雖無索居恨。還動長年情。且喜未聾耳。年年聞此聲。

謝樂天聞新蟬見贈 (808)

劉禹錫

碧樹有蟬後。煙雲改容光。瑟然引秋氣。芳草日夜黃。夾道喧古槐。臨池思垂楊。離人下憶泪。志士激剛腸。昔聞阻山川。今聽同匡牀。人情便所遇。音韻豈殊常。因之比笙竽。送我遊醉鄉。

○

酬牛相公獨飲偶醉寓言見示 (822)

劉禹錫

宮漏夜丁丁。千門閉霜月。華堂列紅燭。絲管靜中發。歌眉低有思。舞體輕無骨。主人啓駝顏。酣暢挾映髮。猶思城外客。阡陌不可越。春意日夕深。此歡無斷絕。

和思黯居守獨吟偶醉見示六韻時夢得和篇先成頗爲麗絕因添兩

韻繼而美之 (3518)

白居易

宮漏滴漸闌。城烏啼復歇。此時若不醉。爭奈千門月。主人中夜起。妓燭前羅列。歌袂默收聲。舞鬢低赴節。絃吟玉柱品。酒透金盃熱。朱顏忽已酡。清奏猶未闕。妍詞黯先唱。逸韻劉繼發。鏗然雙雅音。金石相磨戛。

○

洛中早春贈樂天 (795)

劉禹錫

漠漠復靄靄。半晴將半陰。春來自何處。無迹日以深。韶嫩冰後水。輕盈煙際林。藤生欲有託。柳弱不自任。華意已含蓄。鳥言尚沈吟。期君當此時。與我恣追尋。翻愁爛漫後。春暮却傷心。

和夢得洛中早春見贈七韻 (3519)

白居易

衆皆賞春色。君獨憐春意。春意竟如何。老夫知此味。燭餘減夜漏。衾煖添朝睡。恬和

臺上風。虛潤池邊地。開遲花養豔。語懶鶯含思。似訝隔年齋。如勸迎春醉。何日同宴遊。心期二月二。

○

櫻桃花下有感而作 (3520)

白居易

藹藹美周宅。櫻繁春日斜。一爲洛下客。十見池上花。爛熳豈無意。爲君占年華。風光饒此樹。歌舞勝諸家。失盡白頭伴。長成紅粉娃。停盃兩相顧。堪喜且堪嗟。

和樂天譙李周美中丞宅池上賞櫻桃花 (796)

劉禹錫

櫻桃千萬枝。照耀如雪天。王孫譙其下。隔水疑神仙。宿露發清香。初陽動喧妍。妖姬滿髻插。酒客折枝傳。同此賞芳月。幾人有華筵。杯行勿遽辭。好醉逸三年。

○

小庭寒夜寄夢得 (3700)

白居易

庭小同蝸舍。門閒稱雀羅。火將燈共盡。風與雪相和。老睡隨年減。衰情向夕多。不知同病者。爭奈夜長何。

酬樂天小亭寒夜有懷 (767)

劉禹錫

寒夜陰雲起。疎林暗鳥驚。斜風閃燈影。迸雪打廳聲。竟夕不能寐。同年知此情。漢皇無奈老。何況本書生。

○

一字至七字詩 (3723)

白居易

詩。綺。美。瓊。奇。明。月。夜。落。花。時。能。助。歡。笑。亦。傷。別。離。調。清。金。石。怨。吟。苦。鬼。神。悲。天。下。只。應。我。愛。世。間。唯。有。君。知。自。從。都。尉。別。蘇。句。便。到。司。空。送。白。辭。

歎水別白二十二雜言 (639)

劉禹錫

水。至。清。盡。美。從。一。句。至。千。里。利。人。利。物。時。行。時。止。道。性。淨。皆。然。交。情。淡。如。此。君。遊。金。谷。堤。上。我。在。石。渠。署。裏。兩。心。相。憶。似。流。波。潺。湲。日。夜。無。窮。已。

「劉白唱和集」稿

○

「唯君比萱草相見可忘憂」 (1050)

劉禹錫

酬夢得比萱草見贈 (3402)

白居易

杜康能散悶。萱草解忘憂。借問萱逢杜。何如白見劉。老衰勝少夭。閑樂笑忙愁。試問同年內。何人得白頭。

○

「若有金揮勝二疎」 (1051)

劉禹錫

酬夢得貧居詠懷見贈 (3425)

白居易

歲陰生計兩蹉跎。相顧悠悠醉且歌。廚冷難留鳥止屋。門閑可與雀張羅。病添莊舄吟聲苦。貧欠韓康藥債多。日望揮金賀新命。俸錢依舊又如何。

○

「鍊盡當時美少年」 (1053)

劉禹錫

夢得前所酬篇有鍊盡當時美少年之句。因思往事兼詠今懷。重以長句答之 (3438)

白居易

鍊盡少年成白首。憶初相識到今朝。昔饒春桂長先折。今伴寒松最後凋。生事縱貧猶可過。風情雖老未全銷。聲華寵命人皆得。若箇如君歷七朝。

○

「從此引鴛鴦」 (1052)

劉禹錫

談氏外孫生三日。喜是男。偶吟成篇。兼戲呈夢得 (3450)

白居易

玉牙珠。顛卜男兒。羅薦蘭湯浴罷時。茉莉春來盈女手。梧桐老去長孫枝。慶傳媒氏燕先賀。喜報談家鳥預知。明日貧翁具雞黍。應須酬賽引鴛詩。

補

酬思黯見示小飲四韻 (820)

劉禹錫

拋却人間第一官。俗情驚怪我方安。兵符相印無心戀。洛水嵩雲恣意看。三足鼎中知味久。百尋竿上擲身難。追呼故舊連宵飲。直到天明興未闌。

同夢得酬牛相公初到洛中小飲見贈 (324)

白居易

淮南揮手拋紅旆。洛下迴頭向白雲。政事堂中老丞相。制科場裏舊將軍。宮城煙月饒全占。關塞風光請中分。詩酒放狂猶得在。莫欺白叟與劉君。

(附記) 本文は劉白兩詩とも四部本による。なお「元白唱和集」稿は、中國文學研究室より、本年七月、油印によって提出した。

ついでながらこの餘白を借りて、昭和三十四年度の文部省研究成果刊行費補助金による、「白氏文集の批判的研究」における「正誤表」を追加する。印刷校正のことが病中病後にあたり、訂誤や校正が十分でなかつたためである。

頁 行 誤 正

一七	一三	長慶三年	長慶二年
九五	一	白氏後集 第六十二	白氏後集卷第六十二
	一一	日本見書目錄	日本國見在書目錄
一一一	一四	「前後集」	「前後續集」
一五五	一一	刊本の	卷内の
一九九	六	四十二年 (1703)	四十四年 (1705)
二七二	一五	三七五二「辭閑中好」	三七五三「六言」
二九三	六		〔辭閑中好一首削除〕
三五四	九		〔酬夢得貧居詠懷見贈一行挿入〕
四六一	一一	廣唐三昧賢集	廣唐賢三昧集
六八〇	一一	樂閑中好	〔削除〕